

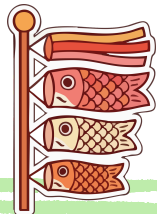
にほんかくち  
日本各地の

きょうどりょうりひとくち

郷土料理一口メモ

がつ  
5月

しまねけん  
島根県



えんむす かみさま ゆうめい  
縁結びの神様として有名  
いずもたいしゃ  
出雲大社



はつ こうざん いせき せかい いざん  
アジア初の鉱山遺跡の世界遺産  
いわみぎんざん  
石見銀山



サルトリイバラの葉

● : これまでに実施した都道府県

かしわもち



れいわ ねん がつ にち げつ  
令和8年5月11日(月)の  
きゅうしょく どうじょう  
給食に登場します!

しまねけんぜんいき こ たんじょう いわ すこ  
島根県全域で、子どもの誕生を祝い、健  
やかな成長を願って、端午の節句(こども  
のひ)の時期に作られています。「かしわ  
もち」という名前ですが、島根県には、か  
しわの葉が自生していません。そのため、  
かしわの葉の代わりにサルトリイバラの葉  
を使うことが特徴です。もち米とうるち米  
の粉を水で溶いてこね、団子にしたものを  
2枚のサルトリイバラの葉ではさんで蒸し  
ます。もちの中には小豆や空豆から作った  
甘いあんが入っています。島根県では、端  
午の節句の時期だけでなく、農作業の合間  
やおやつとしても親しまれています。